

大人の仲が良いと、子どもたちの仲も良くなります

「わが会の活動の自慢をしたくて開催したようなものです」と、平成13年に同会が主催し開催した『第1回胆振おやしサミット』について、笑いながら内情を話してくれた『幌別中学校おやしの会』会長の志齊豊幸さん。

「思ったより反響が大きく、胆振管内から140人のおやしが集まってくれました。また、市内のおやしの会では、引き続き情報交換や親ばく会をやりましようと言ってくれました」と、思った以上の熱意に心強さを感じたと。

今年3月には、市内のおやしの会3回目の交流会が開かれます。『幌別中学校おやしの会』は胆振管内の他校に先駆け平成7年に発足。

学校花壇の造成や校舎内のペンキ塗り、校庭のフジ棚づくりなどの力仕事で活動を始め、今年で10年目を迎えますが、この間、毎年学校祭でバザーを出展し、子どもたちから好評を得ています。

「活動で汗を流した後は爽快です。打ち合わせは、校長室を借りてわいわいやつてます。大人たちの仲が良いと子どもたちも仲良くなりますよ」と、お父さん方の気軽な参加を呼びかけます。



ふれあい農園での田植えに汗を流す

道内初、『日本PTA全国協議会表彰』を受賞

今年度、父親の視点から教育・子育てに関わり続けた活動が評価され、道内で初めての『日本PTA全国協議会表彰』と、『北海道PTA連合会表彰』を受けました。「会長を受け、何がなんだか分からないうちに受賞ということになり戸惑っています。受賞できたことは素直にうれしい」とにやかに笑いながらも、「お父さん方には、もっと積極的に学校に参与してほしい。先生方から学校内での子どもたちの生活の様子を伝えてもらえるし、また、学校側が親や地域に期待することなども理解できる」と、学校を核とした地域における子育ての重要性を、力強く話してくれました。



KIRARI

し さい とよ ゆき
志齊豊幸さん(千歳町)

父親の視点から教育・子育てにかかわり続けた10年間の積極的な活動が評価され、『幌別中学校おやしの会』が、日本PTA全国協議会表彰と北海道PTA連合会表彰をダブル受賞しました。

会長を務める志齊豊幸さんに、受賞の感想やおやしの会へ期待することなどを聞きました。

学校を核とした地域ぐるみでの子育てが大切



昭和37年、胆振管内大滝村生まれ。42歳。室蘭の税理士・行政書士事務所勤務。長女の入学と同時に『幌別中学校おやしの会』に入会し、今年度で6年目。